



メッセナゴヤ2010では、各出展企業の小間番号パネルにエコノラックが採用された。

エコマーク認定スチレンボード 展示会のブース装飾などに採用

広告・販促資材の販売、POPの企画・製作を手がける(株)ベルアドワイス(本社愛知)では、エコマーク認定を取得した環境対応型スチレンボード「エコノラック(EconoLAC)」を販売している。

この製品は、芯材に再生プラスチックを60%以上使用した低発泡ポリスチレン素材のエコパネル。重金属など、オゾン層を破壊する恐れのある有害化学物質を使用しておらず、再生素材を使うことで、CO₂が発生する製造工程を約50%削減、粘着・紙貼りスチレンボードとしてエコマークを取得している。再生素材を使用しながらも、従来品と同等の価格帯と品質、加工性を実現した。

エコマークとは、1989年に環境庁(当時)の

指導のもと、(財)日本環境協会・エコマーク事務局により、運営が開始された環境保全型商品推進事業。

同社では、「エコノラック」の開発に際し、原料を確保するための独自ルートを開拓、再生原料の回収から、原料の粉碎(パレット化)、再製品化に至るまで、再生材を利用した循環型の安定したエコ生産体制を構築している。

広告・販促物へのエコニーズが高まっている状況下、同製品はポスター貼り完成品にエコマークを表示できる唯一のスチレンボードとして注目を集める。日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ」や「生物多様性EXPO2010」、「COP10」関連イベントの「メッセナゴヤ2010」といった各種環境・エコ関連展示会でも、小間番号パネルや会場内共用部の案内板、参加企業のブース装飾などに採用されている。

また、幅広い顧客の要望に応えるため、今年

9月からは、低価格なエコノミータイプとパネルの反りを低減するアルミタイプを追加。エコノミータイプでは、従来の「エコノラック」(エコロジータイプ)と比較して約25%の低価格化を実現しており、高硬度なアルミタイプは、芯材にアルミ箔を挿入することで、従来品に比べ、パネル反りを大幅に低減した。

